

## 2025年度前期BIM利用技術者試験 1級ソフト別注意事項（GLOOBE用）

### 【開始にあたって】

- 「GLOOBE」タブ→「オプション」→「基本設定」ウィンドウで「テンプレート」に添付データの【Template-2025\_前期試験(1級)】テンプレートファイルを参照する。
- ※【Template-2025\_前期試験(1級)】には「図面枠」などに「BIM利用技術者試験」というグループが設定されている。

### 【モデリングに関して】

- 洋室の壁仕上は面積を集計するため、中木の高さ分(60mm)FLから上がった位置で配置する。
- 「増し打ち」は「フカン」で作成してよい。
- 問題モデルの床、天井仕上は名称がないものが入力されているため、仕上表に合わせて修正する。
- 「SUD2」の建具作成では「建具編集」もしくは「建具見付編集」の「建具区画」で「BIM利用技術者試験」というグループが設定されているため、グループ内の「両開き」「FIX」等を使用してよい。  
建具枠として「外 RC 金属 ドア(段無沓ずり)」の「外[仕上巻込] 内[金属]」を割り付けておく。

### 【図面作成に関して】

- 解答用図面枠は「用紙枠」→「用紙枠配置」から用紙枠として「BIM利用技術者試験」の「1級解答用紙」を選択し配置後解答する。
- 図面を解答用紙の指定箇所へ配置する際は、「図枠」→「図枠移動」を利用し配置する。  
※展開図の位置調整は「CAD編集」→「移動」でよい。
- 階段のA-A断面より壁の向こう側は、その位置に新たに階段用断面を作成し**階段のみで隠れ線表現**にして作成しA-A断面の階段部分に重ね合わせる。
- 詳細引き出し線は必要ない。
- 洋室の仕上げ集計の根拠表は「専用設計ツール」タブ→「オブジェクトリスト」→「内壁仕上」から2F洋室を拾い出す。  
「表示項目」の「参考集計値」から必要内容をExcelへ書き出し、エクセル側でフィルタなど利用し必要事項を絞り図面側に「表」→「Excel読み込み」を使用して貼り付ける。  
※Excelがない場合は「専用設計ツール」タブ→「オブジェクトリスト」→「内壁仕上」からフィルタ機能で2F洋室を拾い出し必要事項のみの表を作成後、WindowsのSnipping Toolなどを利用し画像としてJPEGファイルなどで保存し「一般図」→「イメージ」で読み込み、図面枠に配置する。
- DXFへの書き出し時は、「用紙出力」の際「用紙系1/50」で書き出す。